

第5回関西支部技術士受験説明会議事録

令和2年2月8日
関西支部長 高垣俊壽
議事録作成 真野仁孝

【日時】 令和2年2月5日(水) 受験説明会・交流会 17:00~20:00

【場所】 パナソニック松心会館 研修会「3, 4」 大広間

【説明会受講者 28名、技術士 10名⇒合計：38名】

1. 開会の挨拶・・・高垣支部長

2. 基調講演：「技術士試験・受験のすすめ」について

講師：平田達也 技術士（経営工学部門 ロジスティクス+総監部門）

ご自身のプロフィールを交えながら、技術士を目指されたきっかけを紹介。技術士の説明、特典・メリット、技術士の試験制度の概要および試験制度の変更点について説明され、技術士を受験する上での心構えや勉強法などをご自身の実体験に基づいて紹介された。説明内容は下記の項目を、パワーポイントにて解説。

(1) 技術士・技術士補とは

技術士・技術士補の定義、技術士の義務・責務、技術士の業務、技術士CPD（継続研鑽）について説明し、技術士は、職業倫理を備えることを求められると同時に自らが継続して社会のニーズに合致した研鑽必要。

(2) 技術士になるためには

一次試験及び二次試験の概要・受験資格の説明、試験内容はマークシート問題の必須科目、筆記問題の選択科目Ⅱ、Ⅲとなっている。合格すれば口頭試験に進めるが、その際、筆記試験の答案、並びに出願時に提出する業務経歴票も参考にして試問されるため、願書記載時から試験は始まっている。また、令和元年度試験からの変更点として、二次試験選択科目の中のロジスティクスは生産・物流マネジメントに統合されると共に、試験問題は全て記述式に変更となっている。平田様の推奨される試験対応の勉強法として、過去問題や合格した先輩の再現論文を参考にし、出題予測されるキーワードやテーマを抽出し徹底的に覚えること。さらに、筆記試験中は絶対に諦めないこと、筆記試験終了後は可能な限り早く論文を再現すること等を推奨された。

(3) 技術士包装物流会について

技術士会員以外でも研究会員として参加が可能であり、会として技術士受験生をサポートしているため、技術士を目指される方の入会も歓迎と説明された。

3. 三名の方の体験談

講師①：賀川義夫 技術士（経営工学部門 ロジスティクス）

テーマ：「技術士合格体験」

講師は主に包装材料を取り扱う会社の軟包装材の設計開発をご担当。技術士の他に弁理士の資格も持たれている。ご自身の体験談を交えながら、ポイントを具体的にお話いただいた。

(1) 一次試験は過去問をやり込むことが大切で、試験時は解らないことを飛ばして先に進むことを心がける。

(2) 二次試験の必須問題は過去問の先輩の再現論文を参考するが、選択問題については自己の業務に合わせて自分で作成することを推奨する。その際、キーワード学習と共に、論文の作成タイムマネジメント練習も同時に進める。

(3) 口頭試験対策は、他人（家族）に質問してもらい、時間を図りながら答える訓練をする。

講師②：美馬恒治 技術士（経営工学部門 ロジスティクス）

テーマ：「不合格・合格体験記」

講師は、入社前に一次試験を生物工学で合格したが、大手ビール会社入社後にパッケージング部に配属された。二次試験は経営工学部門で受験するも、筆記試験及び口頭試験共に不合格を経験される。この「不合格体験」の反省を元に、二次試験の筆記試験と口頭試験の両方に合格するためのポイントを語っていただいた。

(1) 筆記試験対策として、セミナーを受講し多くの予想問題を作成し添削を受けると共に、白書・専門書を読み論文・データを学習。→制約された時間内にスムーズに書き込むと共に、技術士らしい内容に仕上げた。

(2) 口頭試験対策として、受験申込書は口頭試験を意識して、セミナー等での指導を受け完璧に仕上げた。また、筆記試験終了直後に論文を復元すると共に想定質問と回答を準備し、セミナーと自宅で練習した。本番では「技術士のコンピテンシー（資質能力）」を意識し、回答した。

講師③：板垣大介 技術士（経営工学部門 ロジスティクス）

テーマ：「技術士受験説明会～板垣大介の事例～」

講師は大学卒業後、宅配会社グループ会社等にて、3PL業務、物流コンサルティング業務、経営コンサルティング業務に携わった後、独立しロジスティクスに関わる会社を設立されている。技術士の他に、中小企業診断士の資格も持たれている。一次試験及び二次試験の体験から試験勉強のポイントを語っていただいた。

- (1) 中小企業診断士一次試験問題は、経営工学部門の一次試験及び二次試験問題に求められる知識に共通する部分が多い。技術士経営工学部門の試験問題のテキストは一般に販売されていないため、中小企業診断士一次試験用テキストを参考にするのも有用である。
- (2) 論文を書く上で前提となるのは「分かり易い文章」であり、「題意に沿った文章」である。このような文章を限られた試験時間内で作成するために、日経新聞コラム（春秋）を40字に要約するトレーニング（春秋トレーニング）を推奨する。

4. パネルディスカッション

4名の方の講演に引き続いて、前田副支部長の司会によってパネルディスカッションが行われた。

[質疑応答]

<当日の回答者：順不同>平田氏、美馬氏、賀川氏、板垣氏の4名の講師

質問者<熊谷氏>

Q:技術士を間接的にサポートした経験も二次試験の「実務経験適応」となり得るか?

A:科学技術に関する高等の専門的応用能力を要する事項についての計画、研究、設計、分析、試験、評価及び指導業務に該当するものはすべて適応可能。

Q:技術士補へ登録するメリットはないのか?

A:名刺への記載等でステイタスとして役立ちメリットはある。

Q:経営工学部門の技術士が多いのは何故なのか?

A:旧の制度では経営工学部門の中にロジスティクス等も含まれていたためと思われる。

質問者<川崎氏>

Q:技術士に求められるコンピテンシー（資質能力）の答案への表現について、マネジメントとリーダーシップの表現が分からない。

A:マネジメント：業務の目的遂行に当り人員・設備・金銭・情報等の資源を配分する内容を表現すればよい。

リーダーシップ：業務遂行に当り多様な関係者の利害等を調整し取りまとめることに努力した内容を表現すればよい。

Q:経営工学は統合される前の2倍の勉強量が必要か?

A:必須科目で「数理・情報」「金融工学」が無くなり、選択科目も自分の得意分野を選択するので2倍の勉強量が必要ということはない。

質問者<佐竹氏>

Q:技術士取得後に目指す資格はありますか?

A:携わっている業務によるが、目指すとすれば中小企業診断士などが良いと思う。

Q:実際にいつ頃からどの程度の時間を勉強されたか?

A:私（板垣氏）の場合、対技術士受験としては二週間程度の勉強であるが、それ以前に中小企業診断士勉強の蓄積があった。（トータルでは長期の勉強をした。）

質問者<米田氏>

Q:物流で参考になって資料を教えてください。

A:書籍名：「物流管理ハンドブック」 出版社：PHP研究社 著者：湯浅和夫氏です。

5. アンケート結果

(1) 回答者の内訳

- ・回答者：28名（一般参加者：19名、研究会会員：19名）～技術士会員は除く

(2) 説明会を何で知ったか

- ・当会からの推奨・紹介、メール勧誘、ホームページ等：15名（54%）
- ・上司・先輩からの紹介、社内回覧等：8名（28%）
- ・その他、未記入：5名（18%）

(3) 受験予定

年 度	一次試験	二次試験
2020年	3名	3名
2021年	3名	2名
2022年	なし	なし
未 定	17名	14名
未記入	5名	9名

(4) 本日のセミナーの感想

評 価	人 数
大変良かった	16名
良かった	12名
まあまあ	0名
改善すべき	0名

〈良かった点〉～記述2名

- ・体験談が各々個性があり、参考になった。
- ・講師の方がポイントを押さえて説明して頂いた。

(5) 受験セミナー・個別指導等への希望

希望の有無	人 数
希望する	7名
希望しない	5名
未定	16名

〈希望しない理由〉～記述1名

- ・現在、既に技術士に指導を受けているため。

〈その他の記述〉～記述2名

- ・問題をまだみていないため、一度見てから判断したい。
- ・大変貴重な時間となりました。ありがとうございました。

6. 交流会

【受講者で希望者のみの交流会（講師との交流で大変有効でした）】 【参加者：35名】

- ・レストラン：パナソニック松心会館 19:00～20:00
- ・株式会社流通研究社の北居学顧問の乾杯の音頭により開会し、4人の講師を囲んで話が弾み真野副支部長が締める。

以上